コロナ禍、コツコツとゆっくりつながっている班活動

5班　班長　平野　郁子

沖田3丁目町内地域を13名の福祉協力員で、お一人暮らしの年長者の方々のお宅を訪問させて頂き、みまもりの活動をしています。

月に1回班会議を行い、状況やコロナワクチンの接種の確認、困りごとなど情報を交換し、福祉協力員間で周知できるよう努めています。また、民生委員さんとも連携して、困りごとがなるべく速く解決できるよう協力し合っています。

昨年9月、八幡西区社協主催の「心つなぐ作品展」（年長者作品展）に参加し、みなさんが制作したマイ・カレンダーを出品し展示していただきました。主催の方から「自分でも作ってみたい」と好評でした。

私たちの班では、年に2回交流会を開催しています。今年度は、ヤクルト健康教室とカレンダー作り、塗り絵を配布して作品にしています。コロナ禍ですが、スペースを広く、換気、空気清浄機を設置し、十分に配慮しての開催です。3月下旬には、沖田区会公民館で作品展示をします。散歩がてら、お立ち寄りいただき、ご覧ください。

8班　班長　桑原　真理子

福祉協力員として、二年が経ちました。毎月「お元気ですか」をお配りしているうちに、顔を覚えていただき、少しは気軽に世間話ができるようになったと思います。

今年度は、お楽しみ会で折り紙を実施しました。10月だったのでハロウィンのおばけカボチャやいつもと違ったツルをおり、高齢者のみなさんと福祉協力員さんたちの交流ともなりました。班会議では、新しく民生委員になられた藤原さんも参加して、日ごろの活動での情報交換をすることができました。

まだまだ、コロナ禍のために十分な活動ができていませんが、地域のみなさんが元気で楽しく過ごせるように、微力ながら手助けをさせていただければと思っています。

あなたのやさしい一言が、生きる力につながる　　こんな活動をいっしょに楽しみましょう